

## 就任あいさし

岐阜支部 支部長

岩砂病院・岩砂マタニティ リハビリテーション科

久保田 将成

今年度より岐阜支部長に就任いたしました岩砂病院・岩砂マタニティの久保田です。会員の皆様には平素より岐阜支部活動へのご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。  
不慣れではありますが、役員をはじめ関係各位の皆様にご指導ご協力をいただきながら平成24年度の支部活動を進めてまいりました。  
岐阜支部は5市2郡の広い圏域にわたり99施設496名の会員が所属する県内で最も大きな支部であり、その大きな力や活動を通じて構築される顔の見える関係の重要性を実感しております。  
県土会の公益法人化も間近となり、今後さらに地域社会の医療・介護・福祉に寄与することが期待されると考えます。岐阜支部においても公益事業を積極的に取り組むと共に、学術活動の企画・運営を強化し、会員の皆様により還元できるよう努力する所存です。  
今後とも岐阜支部活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 平成24年度 岐阜支部役員紹介

支部長	久保田 将成	(岩砂病院・岩砂マタニティ)
支部事務係	矢代 真也	(岩砂病院・岩砂マタニティ)
支部財務担当	浅川 義堂	(岩砂病院・岩砂マタニティ)
支部学術担当	池田 雅志	(岐阜保健短期大学)
支部研修係	日石 智紀	(岐阜大学医学部附属病院)
支部教育係	村上 典央	(川崎整形外科クリニック)
支部社会担当	矢島 克幸	(岐阜北厚生病院)
	本谷 郁雄	(河村病院)
	平林 麻衣子	(愛生病院)
支部公益事業担当	村瀬 真由	(松波総合病院)
	大竹 卓実	(寺田ガーテン)
支部広報係	篠原 航平	(羽島市民病院)
	高田 麻理	(岐阜県総合医療センター)
	吉井 秀仁	(山内ホスピタル)
支部職能担当	佐藤 文則	(岐阜市民病院)

## 第33回 市民健康まつり参加報告

岐阜県理学療法士会岐阜支部として、去る平成24年11月4日(日)に岐阜市文化センターにて開催されました「第33回市民健康まつり」に参加してきました。

「市民健康まつり」は、市民参加型事業として市民、健康関連団体、行政が協同して、健康に関する知識を深め、体験する場を提供することにより健康づくりを進めることを目的として開催されております。理学療法士会は今回で4回目の参加になり、総勢8名のスタッフにて活動してきました。活動内容としては、①1日理学療法士協会のウェブ動画上映 ②理学療法啓発パンフレット配布 ③運動体験・段差昇降(10名台使用)を行なうていただき、その時の消費カロリーを算出し、やせるためにはどれだけの運動が必要かを体験していただきました。当日は、2500名程の市民の皆様が体験していただき、「やせるって大変だね」「普段から運動するのは大切だね」など、運動の大切さを再認識され、非常に好評であったと思います。

この活動に参加してくださった全ての皆様、参加の機会を与えてくださった関係者の皆様ありがとうございました。今後も理学療法士として、市民の皆様へ健康に寄与できるよう努力してまいります。

## 病院紹介 「岩砂病院・岩砂マタニティ」

医療法人社団友愛会岩砂病院・岩砂マタニティは内科、小児科、婦人科、産科を診療科とし、一般病棟60床(亜急性期病棟8床)、回復期リハビリテーション病棟40床、産科病棟32床を有する病院です。

2012年2月1日に岩砂病院第一と岩砂マタニティが1つとなりの岩砂病院・岩砂マタニティとしてこの度1周年を迎えました。以前より充実した設備・環境の中で職員一丸となつていつも明るく元気に働いています。職員構成は医師1名、PT14名、OT11名、ST5名、助手1名ですが増え続けるリハビリテーションニーズに因應る為に来年度も増員を予定してまいります。

県下有数の日本リハビリテーション医学会認定研修病院として、県下初のロボットスーツ HAL導入や回復期リハビリテーション病棟協会セラピストマネージャー認定取得など先進的リハビリテーションの実現にも力を注いでいます。内科のバックアップがある回復期リハビリテーション病棟を主軸として365日より質の高いリハビリテーションを提供する為、労力を惜むことなく発揮したいと考えています。また、同一法人である介護老人保健施設山県グリーンポートや岩砂訪問看護ステーションにも密に連携し、包括的な支援体制で高齢社会を見据えて地域医療の最前線として人と社会に貢献していきたいと考えています。

岐阜支部副支部長兼事務担当 岩砂病院・岩砂マタニティ 矢代 真也

